

ブレンディッドラーニングで実現した効果的な授業運営

～ 1,900 名が対象の必修科目で実施した
対面授業とeラーニングを組み合わせた学習形態～

少人数の担当教員で

受講生多数の授業の質を担保する

昨年度、一回生全員が受講する「日本語リテラシー入門」という授業を開講しました。その授業では、当初 40～50 名のクラスサイズを想定していました。およそ 1,900 名の学生が受講しますので、50 名ほどの教員が担当することになりますが、実際にはそれだけの担当教員を動員することが難しく、限られた担当教員で、どのような授業を行えば良いのかという大きな課題にぶつかりました。



「日本語リテラシー入門」対面授業

その時「教育デザイン室」の存在を知り、授業設計を依頼したところ、対面授業とeラーニングを組み合わせたブレンディッドラーニング*の導入をご提案いただきました。eラーニングでは○×で解答するような課題しか課せないと思っていましたが、相談してみると、様々な学習活動ができることを知り、非常に幅広い可能性を感じました。

教員・学生双方に有効な ブレンディッドラーニングの試み

「日本語リテラシー入門」の授業の最後に実施したアンケートで

「ブレンディッドラーニングは対面授業より良かったですか?」という問いに対し、6割の学生が「良かった」と解答しました。この授業形態を、学生が肯定的に評価していると感じています。

担当教員からは、当初「eラーニングを導入するのは大変ではないか」という声もありました。しかし、実際に導入してみるとスムーズに導入することができ、授業終了後「非常によかった」という声もありました。

教員・学生双方にとって有効な試みだったと考えています。

ブレンディッドラーニングの 効果と可能性

学生は eラーニングを「非常に面白い」と積極的に取り組んでくれました。最終的に9割以上の学生が全ての課題を受講しました。対面授業と比較して、同等もしくはそれ以上の成果があったと考えています。



eラーニングを受講する学生

今回は「日本語リテラシー入門」という授業に「ブレンディッドラーニング」を導入しましたが、今後、他の科目にも活用できるのではないかと考えています。



法文学部人文学科人文学日本語学
秋山 英治 准教授

「教育デザイン室」の 授業設計コンサルティング

当初は、eラーニングの導入に対して、大きな二つの不安を感じていました。

一つ目は、導入までの準備などの負担が大きいのではないかと、二つ目は、eラーニングを導入して、実際に学生が取り組んでくれるかということです。

しかし、教育デザイン室に相談をすることで、想像以上の低負担で、総合的に授業の再設計を実現することができました。

また、「どのようにすれば学生がうまく eラーニングを受講することができるか」等のアドバイスを受けながら eラーニングを導入したので、学生も問題なく取り組むことができたと思います。

今回のコンサルティングによって、初めての「eラーニング」を非常にスムーズに導入することが

できました。自分自身の新たな教育スタイルが獲得でき、学生自身にも高い教育効果を与えることができたと考えています。

受講した学生の声

◆対面授業で学んだことを復習する機会が「メディア授業 (eラーニング)」として設けられていることで、学びがきちんと定着しました。特に、eラーニングでの「グループワーク」は、他の学生の解答を自分が学習した後に確認できるため、幅広い知識を身につけられました。自分のペースで学習できるという点も、学びやすいポイントでした。(2回生・女子学生)

◆対面授業とメディア授業 (eラーニング) によって、他の人の意見やさまざまな知識を吸収することができ、学びが広がりました。(2回生・男子学生)

※ブレンディッドラーニング…伝統的な教室での対面授業と、オンラインによる「eラーニング」のそれぞれの長所を組み合わせた学習形態。授業目標に応じて、対面授業とeラーニングを組み合わせ提供する授業のこと。

授業形態

回	授業形態	概要
1	対面授業	オリエンテーション/[第1章]文の長さ・句読点・かかり受けを学ぶ/[第2章]単語・文・段落を学ぶ
2	eラーニング	【第1章】【第2章】の振り返り(ポートフォリオ)
3	対面授業	【第3章】ものごとを正しくとらえ、分かりやすく伝える【第4章】資料を解釈し、説明する
4	eラーニング	【第3章】【第4章】の振り返り(ポートフォリオ)
5	対面授業	【第5章】仮説を立て、考えを組み立てる【第6章】確かな解釈に基づき、主張する
6	eラーニング	【第5章】【第6章】の振り返り(ポートフォリオ)
7	対面授業	【第7章】主張を検証し、批判する
8	eラーニング	【第7章】の振り返り(ポートフォリオ)最終試験及び全体の振り返り

授業スケジュールモデル

週	月	火	水	木	金	土	日	
1週目			第1回目 対面授業					
2週目			第2回目:eラーニング(受講期間)					
3週目		教員・TS・SA 進捗確認作業	第3回目 対面授業					
4週目			第4回目:eラーニング(受講期間)					
5週目		教員・TS・SA 進捗確認作業	第5回目 対面授業					
6週目			第6回目:eラーニング(受講期間)					
7週目		教員・TS・SA 進捗確認作業	第7回目 対面授業					
8週目			第8回目:eラーニング(受講期間)					